

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0572609832		
法人名	有限会社すずらん		
事業所名	グループホームみずほ		
所在地	秋田県仙北郡美郷町土崎字厨川67-2		
自己評価作成日	平成27年10月23日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.akita-longlife.net/evaluation/">http://www.akita-longlife.net/evaluation/</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	平成27年11月18日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>スタッフ一同で、笑顔と笑いの多いホーム作りを継続しています。まずはスタッフが毎日楽しく仕事をし、自然に笑い、それにつられて利用者様も自然に笑顔になって日々楽しく過ごすことができるように心がけていることが、グループホームみずほ最大のアピール点だと思います。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>地域に開かれた事業所として運営推進会議が機能し、参加者と具体的な話し合いを行ってサービスの向上に積極的に活かされ、会議開催の目的を理解された優れた取り組みをされています。日課は特に設けず、利用者の生活習慣を尊重し、個々のペースで生活できるように対応されており、利用者にはできることを自分の役割として生き活きと行っています。利用者、家族との関わりをアセスメントに活かし、職員が一丸となって利用者の生活支援をされています。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
54 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	61 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
55 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	62 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
56 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	63 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
57 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
58 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
60 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スタッフ全員で理念を見直し、わかりやすく簡潔な内容とし、実践しています。	職員全員で見直すことによって、理念を身近なものとして体感できるようにわかりやすくまとめられ、利用者の生活支援に繋がっています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所の方が犬の散歩でホーム前を通る際、立ち寄ってくださり、利用者様とスタッフと会話したりして交流を図るときもあります。	民家とは少し離れた立地条件であるものの、避難訓練の際には協力していただき、散歩される方とは顔馴染みとなっていて、ごく普通のお付き合いをされています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	管理者の渋谷が、地域包括支援センター様や他施設の認知症キャラバンメイトと、認知症サポーター養成講座を開催しました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用契約内容見直しや事例検討等、頂いた意見を実際に業務に反映させ、会議の際に報告しています。	参加者から率直に意見を出していただき、会議内容を職員と協議し、検討事項を運営推進会議で結果報告されています。運営推進会議の目的を理解し、出された意見が運営及びサービスの向上に具体的に活かされています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	空床情報や入居待機者の情報交換等を行っています。	行政及び包括支援センターと協力し、連携を深めています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束排除に関する研修会を開催し、スタッフ全員理解し、身体拘束は行っていません。	車椅子を長時間利用し続けることのないように介護に工夫される等、身体拘束に繋がらないケアを実践されています。行わざるを得なくなった場合の帳票も整備されています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止に関する研修会を開催し、スタッフ全員正しく理解し、虐待とならないようなケアを行うことができるよう、注意しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度と日常生活自立支援事業に関する研修会を開催し、その内容をスタッフ全員理解しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、利用者様及びご家族様に十分な説明を行い、疑問点等を聞き、納得された上で契約を行っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時には必ず利用者様及びご家族様に意見を聞き、その内容を面会記録用紙に記入し、それを参考にしながら運営に反映させています。	利用者の状況を家族に具体的に報告して要望等の引き出しに努めています。内容を記録する用紙を作成して全職員が共有し、アセスメントに活かせるよう努力されています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	内部研修会や毎日の申し送りの際に、スタッフ全員に業務改善等の意見を聞き、業務に反映させています。	代表が現場の声を聴く体制ができており、職員の意見や提案が反映されています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与表、職務規定、就業規定等作成し、職場環境整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内勉強や外部研修にて勉強の機会を設けています。又、職場の自己点検表を作成し、実技トレーニング等を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	親しくしている同業者達との交流の場を設け、お互いの情報交換や質の向上についての取り組みをしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面接、アセスメント、生活歴の聞き取り等も含め、今何ができなくて困っている、又は、何がやりたいか等を聞き、プラン作成に反映しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者様同様、面接、アセスメント、生活歴の聞き取り等も含め、今何ができなくて困っている、又は、何がやりたいか等を聞き、プラン作成に反映しています。		
17		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	外食、買い物、家事作業(食事準備・食器洗い・拭き・縫い物等)、レクリエーション等を一緒に行うことで、家庭的な関係を築くことができていると思います。		
18		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と一緒に居室の整理をおこなったり、気軽に電話し会話を楽しんでいただいたりし、家族との関係を保っています。		
19	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅に一人で居る夫と一緒に外出できる機会を設けたり、行きつけの理容店・美容室への外出の支援、お墓参りへの送迎等、随時行っています。	利用者のこれまでの習慣や人との関係を大切にし、継続できるよう支援されています。	
20		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日のラジオ体操から始まり、トランプやかるた、軽運動等のレクリエーション参加の場を提供し、利用者同士のトラブルが無く楽しく過ごすことができるよう、席替えを行ったりし、配慮しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用が終了(入院による退所)した後、介護認定更新の案内がご家族様の元へ届き、その手続き方法を聞かれ、対応したりしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
22	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の生活状況の観察、普段の何気ない会話から、今後どのように暮らしたいか、何か悩みや不安が無いかを聞き、又はご家族様から情報を得たりしています。	日常生活の中で職員が感じること、普段の行動や会話をアセスメントに繋げています。	
23		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の面接にて情報を聞き、入居後も随時ご本人及びご家族様から必要な情報を聞いています。		
24		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の観察、介護記録、申し送り、会話、レクリエーション等から、現状の把握を常に行っています。		
25	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人とご家族はもちろん、主治医・訪問看護師、みずほスタッフとカンファレンス・サービス担当者会議、モニタリングを開催し、医療機関へ入院し退院した際にも上記を開催し、現状に即した介護計画を作成しています。	日々の記録をアセスメントに活かし、職員の意見も取り入れて介護計画に反映させています。	
26		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日都度個別の介護記録用紙に記入したり、申し送り表に記入し、スタッフ間で情報を共有できています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	若いころから利用していた郵便局等の利用が継続できるよう支援しています。		
28	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前から利用している各医療機関の受診を継続しています。定期受診の他、体調がすぐれないときは医師に電話にて状態を報告し、都度受診等の対応をしています。	利用者個々にかかりつけ医を持ち、希望に沿った支援が行われています。	
29		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週水曜日に訪問看護サービスを利用し、バイタルチェック・状態報告・相談を行い、アドバイスをいただいています。		
30		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、契約期間を伝え、その期間が多少過ぎても再入所できる旨を病院側に伝えていきます。又、家族側からの連絡だけに限らず、病院側からの連絡も随時受け付けているとの旨も伝えていきます。		
31	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態変化があれば都度ご家族様へ状態報告を行い、今後のケアについて話し合っています。又、グループホームでの生活が困難になってきた場合は、受け入れ可能な施設等に相談しています。	過去に実績があり、家族の希望があれば支援できる体制はあります。家族の意向を踏まえ、状況に応じて医師と話し合いの上、対応することになっています。	
32		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ヒヤリハットや事故が発生した場合、再発防止検討会を開催し、その際に急変時の対応についての方法を確認しています。		
33	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	自衛消防総合訓練(避難訓練・通報訓練・消火訓練)を地域住民様にも参加していただき、開催しています。又、自動火災通報に関して、地域住民様の電話登録も了承していただき、火災時に自動で火災を知らせることができるシステムを確立しました。	地域の協力を得ながら訓練が実施され、食料、非常時に必要なものの準備及びチェックも行われています。運営推進会議でも災害対策について話し合われており、そこでの意見を参考にしてマニュアルの見直しをされています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
34	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に表情や気分等の観察を行いながら、都度そのときの状態に合わせた声掛けと対応を行っています。機嫌が悪そうな表情のときは少し見守り、タイミングをみて声をかけてみたり、間違っただけを話しているときは、決して否定はせずに傾聴しながら対応しています。	本人の気持ちに沿って接することを基本にされており、その人の性格や職歴等に配慮した対応をされています。居室の排泄用品の保管の仕方にも配慮がみられます。	
35		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人に直接今の希望要望を聞いたり、買い物や外食の際は、自分が買いたい物・食べたい物を自己決定できるよう配慮しています。		
36		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調をよく観察し、「今日は少しダルいから」等訴えがあれば、ゆっくりと休養していただき、「買い物に行きたい」等外出の希望があれば都度対応しています。		
37		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節・気温に応じた衣服を一緒に選んだり、パーマをかけたい等希望があれば、行きつけの美容室へ行くことができるよう支援しています。		
38	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むきやもやしの芽取り等、作るものを一緒に考えながら行っています。食事の際は一緒に下ごしらえしたものであることを伝え、楽しく食事を摂ることができていると思います。	食事の準備や後片付けを自主的にお手伝いされ、利用者の能力が活かされています。家族と一緒に食事を楽しめるホームの行事も開催されています。	
39		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食時に食事摂取量の確認をし、記録しています。又、毎朝牛乳にきな粉を入れて飲んでいただいていた方へはそれを継続して提供しています。		
40		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、義歯洗浄とうがいをを行い、時々口内を見て、口内炎等がないかチェックしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	声をかけて都度トイレ誘導し、なるべくトイレでの排泄を支援しています(スタッフ2人対応もあり)。又、排泄チェック表への記入及びそれを参考にトイレ誘導時間を決めたりしています。	チェック表を活用してパターンを把握し、また、利用者の様子を見て誘導する等、トイレでの排泄を支援されています。	
42		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳や食物繊維の多く含んだ食材(千切りキャベツ。湯がいて提供することもあり)を提供したり、物が噛みにくい方であればお粥や刻み食にて消化をよくしたり、毎日の体操にて腸に働きかけるように動いたりしています。		
43	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ある程度の入浴日は決まっていますが、毎日のバイタルチェックにてその日の血圧がどうなのかを判断して入浴の可否を決めたり、「今日は入りたくない」と言う方があれば少し時間をずらして再度誘ってみたりしています。	1~2日おきに入浴されており、車椅子の方にも安全に配慮した支援が行われています。	
44		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	レクリエーションや入浴・家事作業等で疲労を感じているようであれば、自室やホールのソファや畳で休んでいただいております。		
45		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の変更があれば都度申し送りし、薬の袋に目的や副作用・用法が記載されている(もしくはそれ専用の用紙)のでそれを毎日使用する個人のケース記録ファイルに綴じ、いつでも確認できるようにしています。		
46		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	アセスメント、日々の会話や観察・ご家族様からの情報収集・現在の状態にて、縫い物が好きだった方へはその道具を提供したり、外仕事が好きだった方は、ホームにある畑にて作業を提供したりしています。		
47	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	化粧品が無くなりそうだからいつも行っている店に行っておきたい・自宅近くの親友に会いに行きたい等、希望があれば都度、車両にて外出の支援をしています。	利用者の希望に沿って個別に対応され、今まで通りに出かけられるように支援されています。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	スタッフ全員、利用者様は年金等が気がかりで自分で持っていないと不安であることを理解しており、病院や買い物時に自分で支払いたい方は自分で行ってもらっています。		
49		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	友人や家族等へ、確認したいことやいつもの世間話がしたい等の希望があれば、電話を提供しています。		
50	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日差しの強い時は、遮光カーテンを使用したり、トイレは都度換気扇を使用したりしています。ホールの壁には、その季節に応じた絵等、レクリエーションで皆で作し、飾り、季節感を演出しています。	季節がわかる絵でカレンダーを手作りする等、季節感のあるものを飾るように工夫され、ホールの飾り棚も安全に配慮して使用されています。小上がりの畳スペースで自分の役割としている作業をしたり、利用者同士が腰を掛けて話をする等、思い思いに使用できる空間となっています。	
51		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	2つあるホールのソファを使い分けたり、メインのテーブルの席順を都度変更し、個人又は複数でトラブル無く過ごすことができるよう配慮しています。		
52	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンスやテーブル・籐の椅子等、自宅で慣れ親しんで使用してきた物を持ち込んでいただいています。	家族の協力を得ながら利用者にとって居心地の良い居室となるようそれぞれが工夫し、個性的な環境づくりをされています。また、棚に上げているものが落ちてこない工夫が施されています。	
53		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室前には表札を見えやすいように大きな文字で張り、トイレ前にはトイレと見やすい位置に書いて貼っています。		